

認定書

国住指第 2699 号
平成 29 年 12 月 1 日

株式会社古河テクノマテリアル
代表取締役社長 戸崎 敏夫 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-0952
2. 認定をした構造方法等の名称
ガラス繊維強化ポリプロピレン管／熱膨張性シート・シーリング材充てん／
壁準耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

ガラス繊維強化ポリプロピレン管／熱膨張性シート・シーリング材充てん／壁準耐火構造／貫通部分

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開 口 部	形 状	円形(φ260mm以下)
	面 積	0.053m ² 以下
配管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		8~22mm
占 積 率 (開口面積に対する配管の断面積の割合)		86.7%以下
貫通する壁の構造等		建築基準法施行令第129条の2の3第1項第一号ロの規定に基づく準耐火構造(60分)又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく耐火構造(60分) 厚さ100mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3及び寸法を表4に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目		仕 様	
熱膨張性シート	表面材	材料	表面材張グラファイト系熱膨張性シート
		使用箇所	貫通部の配管に巻き付け
		寸法	幅：90mm以上(壁内部に40mm以上埋め込み) 厚さ：6.83mm以上 長さ：壁面両側に配管外周1周巻き以上
	基材	材料	アルミニウム箔貼ガラスクロス
		寸法	0.13mm以上
		組成 (質量%)	材料・組成は社外秘とさせていただきます
		密度	1.15(±0.20)g/cm ³
		厚さ	6.7mm以上
	充てん材	材料	建築用シーリング材 (JIS A 5758) 種類：シリコーン系
		充てん量	隙間に密に充てん(壁の両側に25mm以上)

表3 配管の仕様

項目	仕様				
配管	ガラス繊維強化ポリプロピレン管	外径	φ 216mm以下	厚さ	12.0mm以下

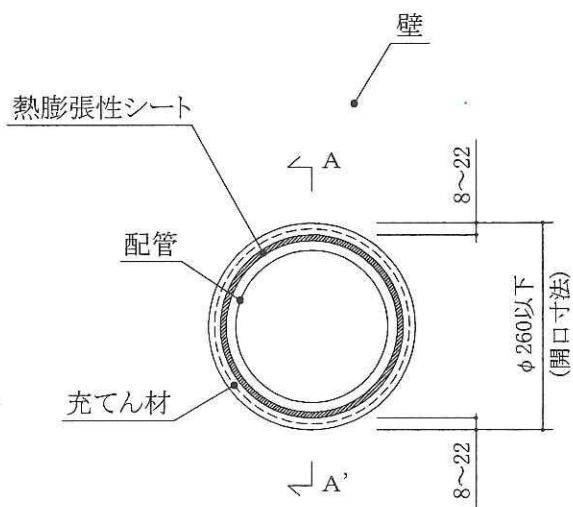
表4 配管の寸法

外径	呼径	厚さ	厚さの内訳	
			内層(PP)	外層(GRP)
φ 48mm	40	4.0mm	1.5mm	2.5mm
φ 60mm	50	5.0mm	1.5mm	3.5mm
φ 76mm	65	6.2mm	2.0mm	4.2mm
φ 89mm	75	5.0mm	1.5mm	3.5mm
		7.5mm	2.5mm	5.0mm
φ 114mm	100	5.0mm	1.5mm	3.5mm
		9.5mm	3.2mm	6.3mm
φ 140mm	125	6.0mm	2.0mm	4.0mm
		7.8mm	2.6mm	5.2mm
φ 165mm	150	7.0mm	2.3mm	4.7mm
		9.0mm	3.0mm	6.0mm
φ 216mm	200	8.0mm	2.7mm	5.3mm
		12.0mm	4.0mm	8.0mm

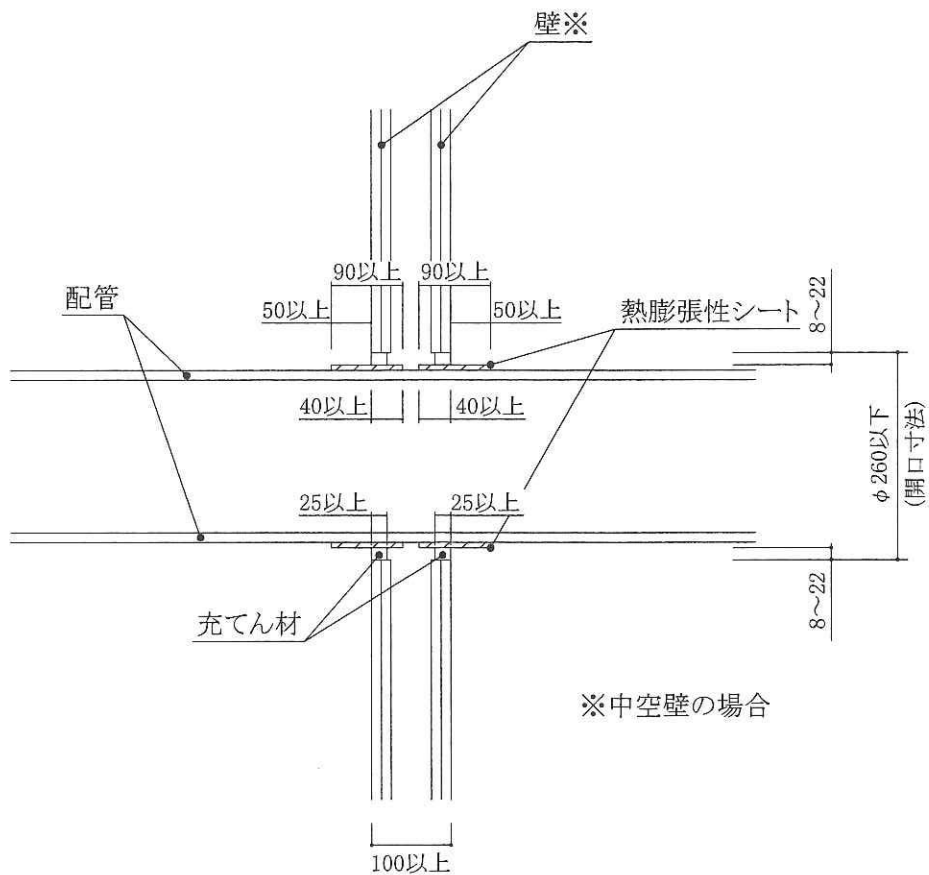
注)PPとはポリプロピレン層、GRPとはガラス繊維入りポリプロピレン層を示す。

4. 構造説明図：

構造説明図を図1及び図2に示す。



立面図



A-A'断面図

図1 構造説明図(施工図)

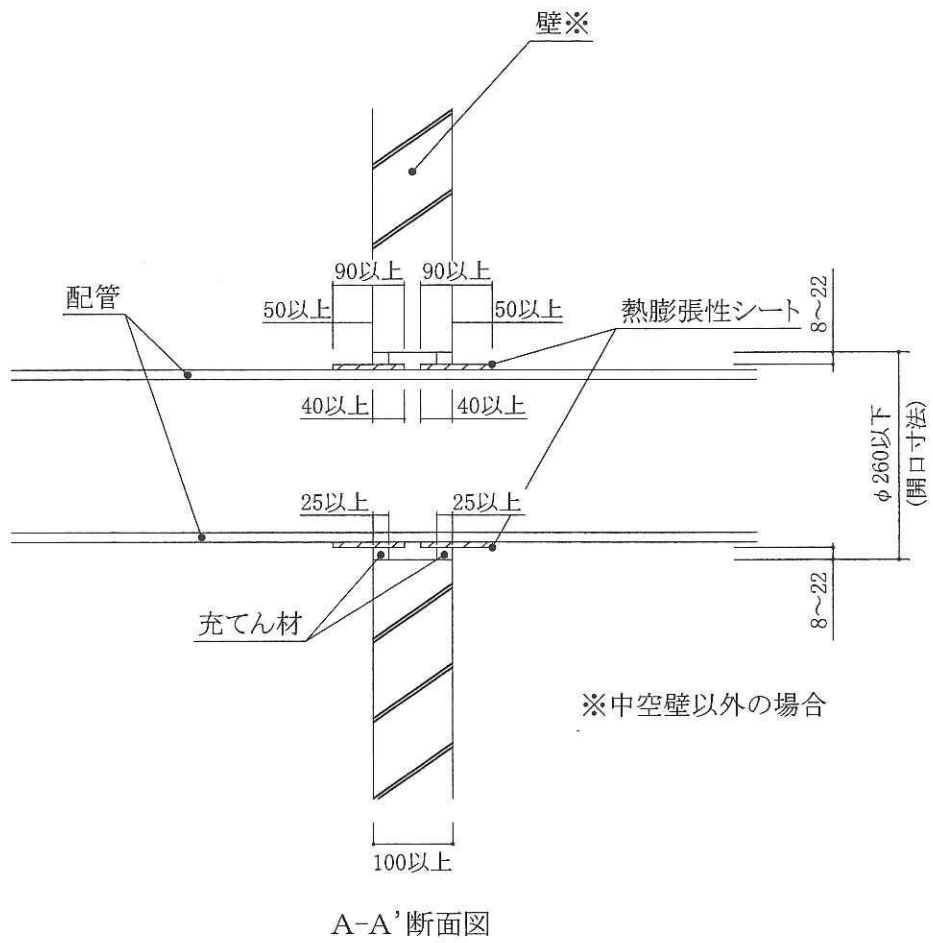
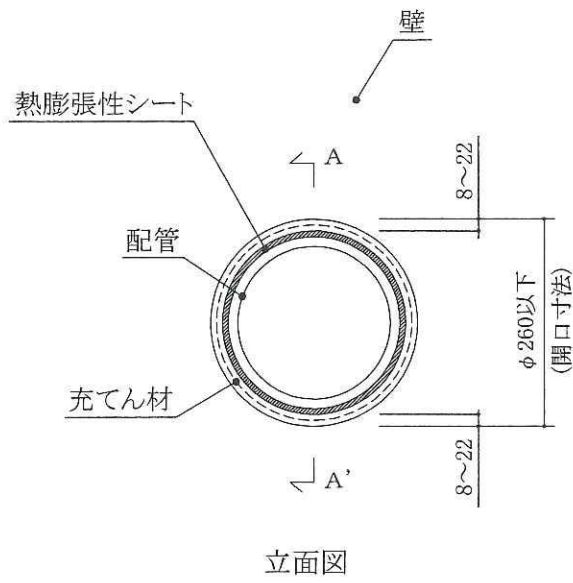


図2 構造説明図(施工図)

5. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- (1) 開口部等の確認
開口部の面積、配管の占積率、壁の構造等が仕様に適合しているか確認する。
- (2) 熱膨張性シートの巻き付け位置の確認
配管の熱膨張性シートを巻き付ける位置を確認する。
- (3) 熱膨張性シートの巻き付け
位置に従い熱膨張性シートを1周巻き付ける。熱膨張性シートは、必要に応じて2分割にすることが出来る。この際、熱膨張性シートの端と端に隙間が出来ないように密着させる。若しくは、重ね合わせる。なお、熱膨張性シートの巻き付けの際に、必要に応じて仮固定の施工用テープ(ビニールテープ・紙テープ・布テープ・不燃テープなど)を用いてもよい。
- (4) 充てん材の埋め戻し
壁の両側から熱膨張性シートと壁との隙間に充てん材（シーリング材）を密に充てんする。